

## 新潟市民の依頼による食材の放射性物質検査の検査状況について

### 1 導入検査機器及び設置場所

- 1) 簡易型ガンマ線スペクトロメーター
- 2) 新潟市保健所食の安全推進課

### 2 新潟県内における持込み食材の放射性物質検査の状況

	平成24年度*	平成25年度	平成26年度 (2月末まで)
新潟市保健所食の安全推進課	27	9	8
新潟県消費生活センター (新潟市中央区上所 2-2-2)	338	82	26
新潟県環境衛生中央研究所 (長岡市新産 2-12-7)	157	28	8
上越環境科学センター (上越市下門前 1666)	80	22	3
合計	602	141	45

※ 新潟市保健所食の安全推進課は平成24年10月1日から検査開始

### 3 広報

- (1) 市報
- (2) ホームページ
- (3) イベントにおけるパネル展示

### 4 検査品目

平成24年度検査開始時には新潟市内産の野菜、果物類が多数を占めていた。しかし、25年度から26年度にかけては、新潟県と福島県の県境付近で採取した山菜・きのこ類の依頼が多くなった。

### 5 考察

新潟市内の検査件数は事業開始年度をピークに翌年から大幅に減少し、今年度も前年度の検査件数とほとんど同じである。また、新潟県内の各会場においても検査件数は減少傾向にある。

上記のことから、新潟県内では、放射性物質による食品汚染の不安が軽減されていると考えられる。